【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】令和3年1月7日(2021.1.7)

【公表番号】特表2020-503184(P2020-503184A)
【公表日】令和2年1月30日(2020.1.30)
【年通号数】公開・登録公報2020-004
【出願番号】特願2019-556548(P2019-556548)
【国際特許分類】
Ｂ２４Ｂ　29/08　(2006.01)
Ｂ２４Ｂ　55/06　(2006.01)
Ｂ２４Ｂ　29/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２４Ｂ　29/08
Ｂ２４Ｂ　55/06
Ｂ２４Ｂ　29/00　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】令和2年11月18日(2020.11.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
研磨面を有し、パイプの外面に接触するように構成された、１つ又は複数の研磨ホイールを含む研磨ホイール組立体を備える、パイプスカッフィング装置と、
前記パイプスカッフィング装置を制御して、前記１つ又は複数のフラップホイールを前記パイプの外面と選択的に係合及び係合解除するように構成された制御システムと、
を備える、パイプスカッフィングシステム、
を備える、パイプ処理システム。
【請求項２】
前記パイプを支持するように構成された支持体を備える、パイプ位置決めシステムを更に備える、請求項１に記載のパイプ処理システム。
【請求項３】
前記パイプ位置決めシステムが、前記支持体の移動を駆動することによって、前記パイプと前記１つ又は複数の研磨ホイールとの間の相対的な位置を変えるように構成された駆動機構を備える、請求項２に記載のパイプ処理システム。
【請求項４】
前記駆動機構が、前記パイプの回転方向が前記１つ又は複数の研磨ホイールの回転方向と反対になるように、前記支持体の移動を駆動するように構成されている、請求項３に記載のパイプ処理システム。
【請求項５】
前記研磨ホイール組立体がフレームを更に含み、前記フレームの垂直方向の長さに沿って昇降して、前記パイプと係合及び係合解除するように構成されるように、前記パイプスカッフィング装置が、前記研磨ホイール組立体を支持し、かつ前記支持体に結合するように構成されている、請求項２に記載のパイプ処理システム。
【請求項６】
前記パイプが前記パイプスカッフィング装置によってスカッフ処理された後に前記パイ

プを受け入れ、かつ、追加の材料層を前記パイプに追加するように構成されたパイプ包装システムを更に備える、請求項１に記載のパイプ処理システム。
【請求項７】
前記少なくとも１つのプロセッサが、前記１つ又は複数の研磨ホイールを制御して、前記パイプの回転方向とは反対の方向に回転させるように構成されている、請求項１に記載のパイプ処理システム。
【請求項８】
前記１つ又は複数の研磨ホイールが、１つもしくは複数のフラップホイール、又は、１つもしくは複数のワイヤホイールを含む、請求項１に記載のパイプ処理システム。
【請求項９】
前記パイプ内の波形のピッチに対する、前記１つ又は複数の研磨ホイールのそれぞれの幅の比が、１／３から１／６の間である、請求項１に記載のパイプ処理システム。
【請求項１０】
前記パイプスカッフィング装置が、前記１つ又は複数のフラップホイールが前記パイプのスカッフの深さを決定する距離で前記パイプと係合するときに、前記パイプと係合するように構成されたガイドローラを更に備える、請求項１に記載のパイプ処理システム。